日本ピグメント株式会社

証券コード：4119

Business Report

第80期 報告書　2015.4.1—2016.3.31

世界を彩る、日本ピグメント

暮らしに色があるかぎり、
わたしたちは、提供しつづけます。

経営理念

私ども日本ピグメントは、次の4つの理念を使命として、色彩関連製品を提供するとともに、人と自然環境の融合を理念においた製品作りを目指しております。

経営理念

1. **色彩を通じて、ゆとりのある生活をみなさまに提供し、社会の繁栄に寄与します。**
2. **グローバリゼーションの中で、地域社会との調和と共生を目指します。**
3. **技術革新・サービス向上に努め、お客様のニーズに合った環境に配慮した高品質の製品作りを目指します。**
4. **個性溢れる人材を育成し、創造性豊かで活力のある企業集団を目指します。**

株主のみなさまには格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
当社グループは、企業価値向上に向けて今後とも全力を尽くしてまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

取締役社長 **加藤 龍巳**

●新体制

当社は平成28年6月29日開催の第80回定時株主総会において、定款変更のご承認を頂き監査役設置会社から監査等委員会設置会社へ移行し、また新たに執行役員制度を導入致しましたので新しい体制をご紹介いたします。

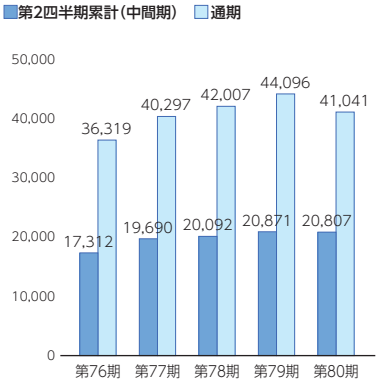
取締役社長　社長執行役員	加　藤　龍　巳	経営全般・内部監査室・購買部担当
専務取締役　専務執行役員	井　手　譲　司	経営管理本部・総務部・経理部・品質保証室・海外事業管掌、法務コンプライアンス統括室担当
取締役　執行役員	平　岡　正　彦	生産本部長、中国事業担当
取締役　執行役員	今　井　信　一	総務部・経理部・システム部担当
取締役	三　輪　幸　一	常勤監査等委員
社外取締役	鈴　木　道　弘	監査等委員
社外取締役	原　田　尚　知	監査等委員
上席執行役員	武　田　　聡	特命担当・品質保証室担当
上席執行役員	宮　本　康　弘	営業本部長兼営業管理部長
上席執行役員	綾　　義　弘	開発本部長
執行役員	川　原　伸　二	購買部長
執行役員	古　賀　義　隆	営業本部副本部長
執行役員	田　中　　淳	生産本部副本部長
執行役員	光　枝　孝　宗	営業本部　樹脂コンパウンド統括部長
執行役員	田　代　喜　一	経営管理本部長兼経営企画部長
執行役員	至　田　順　彦	生産本部副本部長兼埼玉川本工場長

連結財務諸表

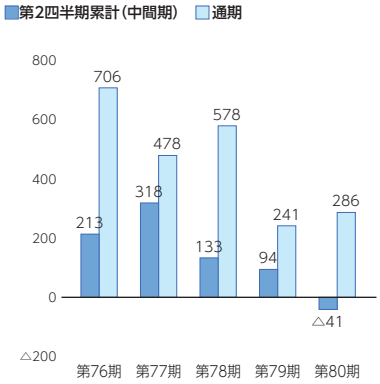
●財務ハイライト

第80期は、海外では取扱数量の減少により減収減益となりましたが、国内では取扱数量の増加と経費削減の効果もあり全体としては減収増益となりました。

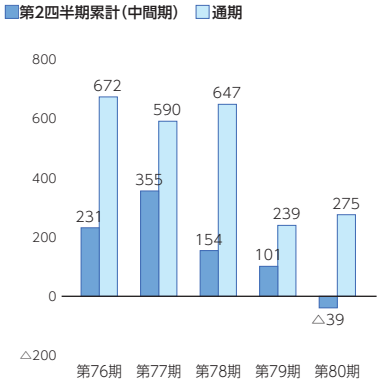
売上高(百万円)



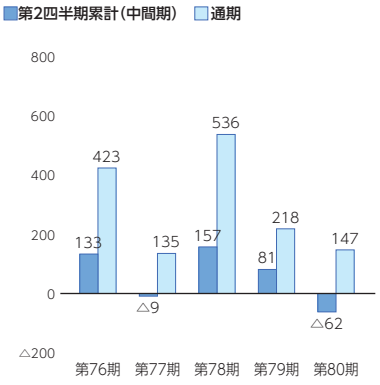
営業利益(百万円)



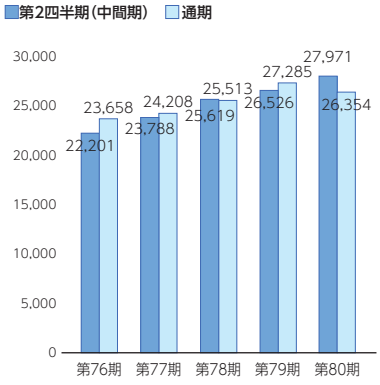
経常利益(百万円)



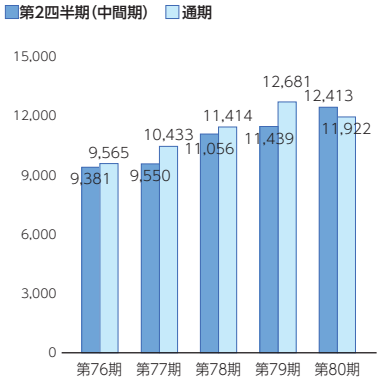
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)



総資産(百万円)



純資産(百万円)



●連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	科　目	当連結会計年度末 2016年3月31日現在	前連結会計年度末 2015年3月31日現在
	資産の部		
	流動資産	13,264	13,437
1	固定資産	13,089	13,847
	有形固定資産	8,286	8,555
	無形固定資産	33	46
	投資その他の資産	4,769	5,246
	資産合計	26,354	27,285
	負債の部		
	流動負債	10,738	10,821
2	固定負債	3,693	3,781
	負債合計	14,432	14,603
	純資産の部		
	株主資本	10,638	10,617
	資本金	1,481	1,481
	資本剰余金	1,047	1,047
	利益剰余金	8,126	8,104
	自己株式	△16	△15
	その他の包括利益累計額	367	1,133
	非支配株主持分	916	931
3	純資産合計	11,922	12,681
	負債純資産合計	26,354	27,285

Point.1　固定資産について

固定資産は13,089百万円と前期末の13,847百万円に比べ758百万円の減少となりました。この主な要因は有形固定資産が268百万円、投資有価証券が375百万円、退職給付に係る資産が132百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

Point.2　固定負債について

固定負債は3,693百万円と前期末の3,781百万円に比べ87百万円の減少となりました。この主な要因は長期借入金が118百万円減少したことなどによるものです。

Point.3　純資産について

純資産合計は11,922百万円と前期末の12,681百万円に比べ759百万円の減少となりました。この主な要因はその他有価証券評価差額金が118百万円、為替換算調整勘定が459百万円、退職給付に係る調整累計額が188百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

連結財務諸表

●連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科　目	当連結会計年度 自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日	前連結会計年度 自 2014年4月 1日 至 2015年3月31日
売上高	41,041	44,096
売上原価	37,817	40,851
売上総利益	3,223	3,245
販売費及び一般管理費	2,937	3,003
4 営業利益	286	241
営業外収益	212	195
営業外費用	223	198
経常利益	275	239
特別利益	42	66
特別損失	1	32
税金等調整前当期純利益	316	273
法人税、住民税及び事業税	118	124
法人税等調整額	26	△77
非支配株主に帰属する当期純利益	23	8
5 親会社株主に帰属する当期純利益	147	218

Point.4　営業利益について

営業利益は、国内において経費削減の効果もあり前期と比べ44百万円の増加となりました。

Point.5　親会社株主に帰属する当期純利益について

親会社株主に帰属する当期純利益は前期は税効果会計による法人税等調整額が利益を増やす結果となったことから前期と比べ70百万円減少しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科　目	当連結会計年度 自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日	前連結会計年度 自 2014年4月 1日 至 2015年3月31日
6 営業活動による キャッシュ・フロー	343	1,148
7 投資活動による キャッシュ・フロー	△321	△1,289
8 財務活動による キャッシュ・フロー	△178	24
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△179	120
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△335	3
現金及び現金同等物の 期首残高	2,081	2,077
現金及び現金同等物の 期末残高	1,746	2,081

Point.6　営業活動によるキャッシュ・フローについて

当連結会計年度において営業活動による資金の収入は前期と比べ804百万円減少し、343百万円となりました。これは、売上債権の増減及び未払消費税等の減少などによるものです。

Point.7　投資活動によるキャッシュ・フローについて

当連結会計年度において投資活動による資金の支出は前期と比べ967百万円減少し、321百万円となりました。これは前期は関係会社の取得による支出が868百万円発生したことなどによるものです。

Point.8　財務活動によるキャッシュ・フローについて

当連結会計年度において財務活動による資金の減少は178百万円となりました。前期は24百万円の増加でした。

セグメント別概況

日本

日本は、国内景気の緩やかな回復により秋口からは持ち直し傾向となりましたが、中国経済の減速や個人消費の回復の遅れ等を背景に厳しさの残る展開となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は23,814百万円（前期比1.3％減）となりましたが、営業利益としては117百万円（前期営業損失991千円）となりました。

東南アジア

東南アジアは、中国経済減速の影響等で域内全体に景気減速が広がり、各拠点で受注が伸び悩みました。

当連結会計年度の売上高は16,200百万円（前期比13.1％減）、営業利益は179百万円（前期比26.2%減）となりました。

その他

その他は、中国経済減速の影響から日系自動車関連の受注が伸び悩み、当連結会計年度の売上高が1,026百万円（前期比22.4％減）、営業損失は10百万円（前期営業利益346千円）となりました。

各部門別の概況

部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、自動車産業向けエンジニアリングプラスチック、建材産業向けの一部が比較的底堅く推移致しましたが、中国経済減速の影響を払拭するまでには至らず、厳しさの残る結果となりました。

樹脂用着色剤部門は、国内需要が伸び悩むなか、一部の自動車産業向けやトイレタリー関連が比較的堅調に推移し、家電産業向けフィルムも回復傾向となりましたが、上期の想定外の落込みを取り戻すまでには至らない結果となりました。

加工カラー部門は、一部の自動車産業向け、建材産業向けおよび液体分散体は比較的堅調に推移しましたが、想定までには至りませんでした。

中期経営計画“Challenge 2020”

当社は2020年に向けて中期経営計画「Challenge 2020」を策定しましたので、お知らせします。

—— ボーダレス化への再編と新生へのステップ ——

次世代の柱を確立し、持続的成長へ向けた土台を固める5年

基本方針

①次世代に向けた成長戦略への舵取り

コンパウンド事業中心の 現在のビジネスモデルからの早期転換	次世代に向けた事業の創出
コンパウンド事業の採算改善を図りつつ、 自社製品の拡販に注力	新たな易分散体の開発推進 3年後までに一つの事業としての立ち上げを目標

②経営基盤の強化

- 収益力の強化
- グローバル化の推進
- 国内外生産体制の再構築
- グループ経営体制の拡充

③ブランド価値向上

- 研究開発と品質管理の充実化

彩と共に豊かな暮らしへ

収益力の強化

- 収益を重視した適正な生産体制の構築
- 自社製品の拡販
- 分野別の販促チーム体制構築
- 国内外一体の販売強化
- 機能性カラー分野の資源投入による拡販
- ブランド価値向上

収益力の強化

国内外生産体制の再構築

- 生産拠点の集約・再編
- 拠点毎の生産品特化
- 品質向上
- 省力化

優位性の確保

顧客満足度の向上

グローバル化の推進

- 顧客の海外移管を綿密にフォロー
- 国内外一体の販売強化
- 機能性カラー分野の拡販
- 提携等でのフィー収入
- ローカル人材育成・活用

グローバル化の推進

本中期計画の成長シナリオの流れ

連結業績目標

(単位:百万円)

	2018年度	2020年度
売上高	48,000	51,000
営業利益	1,150	1,530
当期純利益	720	970
ROE	5.10%	6.30%

※ROEは5%超の維持を目標とする。
※配当性向は30%を目標とする。

この資料に掲載してある将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいています。
このため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

会社の概要（2016年3月31日現在）

●概要

●**会 社 名** 日本ピグメント株式会社
(Nippon Pigment Company Limited)

●**本　社**
所 在 地 東京都千代田区神田錦町三丁目20番地

●**代 表 者** 取締役社長 加藤 龍巳

●**創　　業** 1925年（大正14年）

●**事業内容** 樹脂コンパウンド・・・・・プラスチック成形用材料
樹脂用着色剤 ・・・・・・・・プラスチック着色剤
加工カラー ・・・・・・・・・・塩化ビニール着色剤等
ピグメントカラー・・・・・塗料用、印刷インキ用等

●**資 本 金** 14億8,115万円

●**株　　式** 東京証券取引所市場第二部上場

●国内拠点・海外拠点

●**本社・営業部門**
・本社・東京支店
・大阪支店
・名古屋支店

●**生産部門**
・埼玉川本工場（埼玉県）
・大阪工場（大阪府）
・東京ピグメント㈱（埼玉県）
・ニッピ化成㈱（埼玉県）
・名古屋ピグメント㈱（愛知県）
・大阪ピグメント㈱（奈良県）

●**海外**
・Nippon Pigment (S) Pte. Ltd.（シンガポール）
・Nippon Pigment (M) Sdn. Bhd.（マレーシア）
[Head Office and Shah Alam Plant]
[Penang Plant]
・P.T.Nippisun Indonesia（インドネシア）
・天津碧美特工程塑料有限公司（中国）
・NPK Co.,Ltd.（韓国／持分法適用関連会社）
・上海新素材特種聚合物有限公司（中国／持分法適用関連会社）

株式の概要

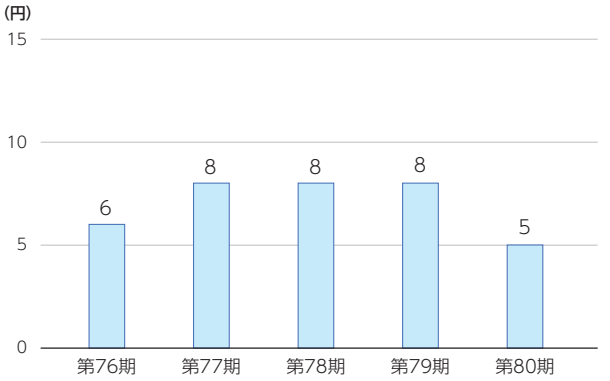
●株式の状況

●**発行可能株式総数** 30,000,000株

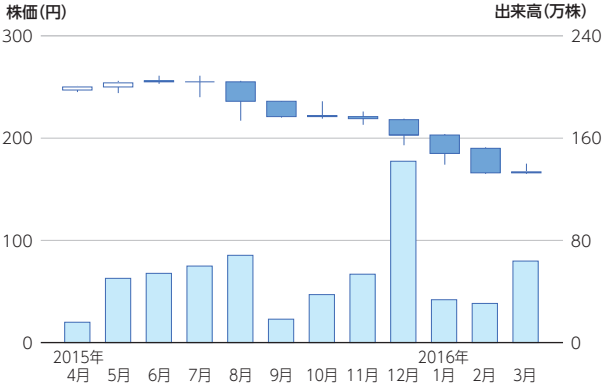
●**発行済株式総数** 15,758,994株
（うち自己株式53,754株）

●**株主数** 2,071名

●**配当金の推移**



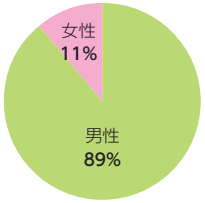
●**株価チャート（月足）**



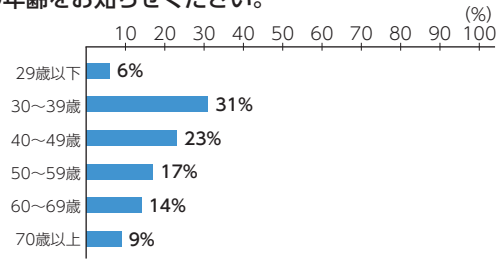
株主アンケート結果

当社では、第80期中間報告書送付の際に、株主様向けアンケートを実施いたしました。アンケートの結果について抜粋してご報告いたします。

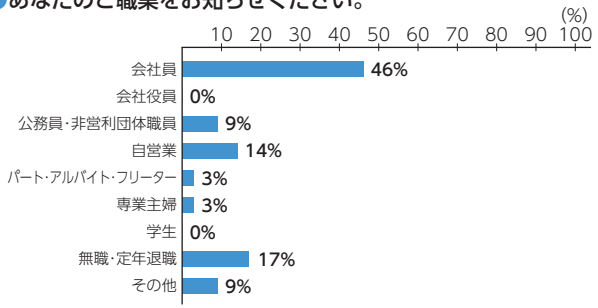
●あなたの性別をお知らせください。



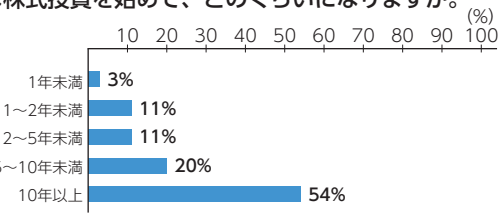
●あなたの年齢をお知らせください。



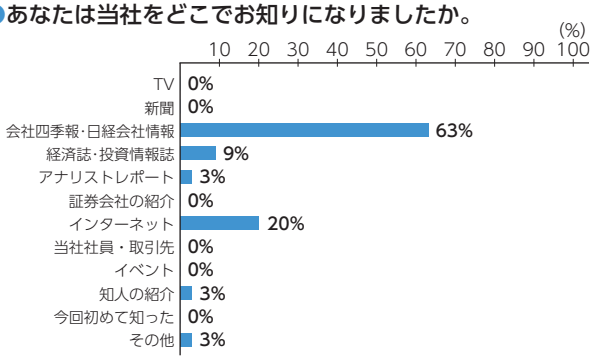
●あなたのご職業をお知らせください。



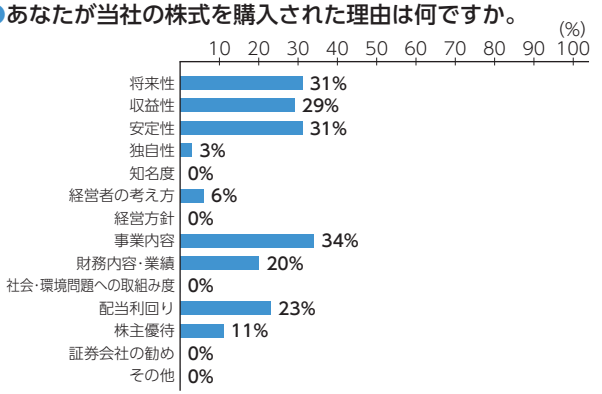
●あなたは株式投資を始めて、どのくらいになりますか。



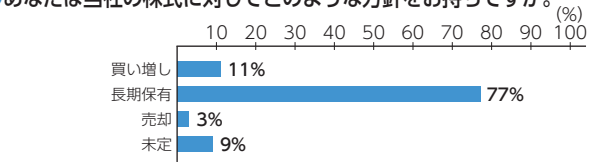
●あなたは当社をどこでお知りになりましたか。



●あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか。



●あなたは当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか。



このたびは、アンケートにご回答いただきまして、ありがとうございました。あらためて御礼申し上げます。

今回いただきましたご回答を、今後の参考にさせていただきます。

株主メモ

●上場証券取引所　東京証券取引所 市場第二部
●証 券 コ ー ド　4119
●単 元 株 式 数　1,000株
●事　業　年　度　4月1日から翌年3月31日まで
●定時株主総会　6月中
●基　　準　　日　定時株主総会　3月31日
　期末配当金　3月31日
●株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
　三菱UFJ信託銀行株式会社
●同　連　絡　先　三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
　〒137-8081
　東京都江東区東砂七丁目10番11号
　TEL 0120-232-711（通話料無料）
●単元未満株式買取手数料および買増手数料
　無料
●公告掲載方法　電子公告といたします。
　当社ホームページアドレス
　http://www.pigment.co.jp/
　（ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。）

【株式に関するお手続きについて】

○証券会社等でお取引をされている株主様

お手続き・お問い合わせ先	お取引のある証券会社等
お手続き・ご照会の内容	○住所・氏名等のご変更 ○単元未満株式の買取・買増請求 ○配当金の受領方法の指定　等
留意事項	未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部が承ります。

○特別口座に記録された株式をご所有の株主様

お手続き・お問い合わせ先	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 〒137-8081　東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
手続用紙のご請求方法	音声自動応答電話によるご請求 TEL 0120-244-479（通話料無料） インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
お手続き・ご照会の内容	○特別口座から一般口座への振替請求 ○住所・氏名等のご変更 ○単元未満株式の買取・買増請求 ○配当金の受領方法の指定（*） ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会　等
特別口座での留意事項	特別口座では、株式の売却はできません。 売却するには、証券会社等に口座を開設したうえで株式の振替手続きが必要となります。

（*）特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

株主のみなさまの声をお聞かせください

下記ＵＲＬにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主のみなさまの声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます

http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 4119
いいかぶ　検索

空メールによりURL自動返信　kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます　QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。

※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社 a2mediaについての詳細　http://www.a2media.co.jp）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。
●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900（平日 10:00～17:30）MAIL:info@e-kabunushi.com

Pigment 日本ピグメント株式会社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町三丁目20番地
TEL 03-6362-8801 FAX 03-6362-8808
http://www.pigment.co.jp/

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK
この報告書は、環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しております。
UD FONT
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。